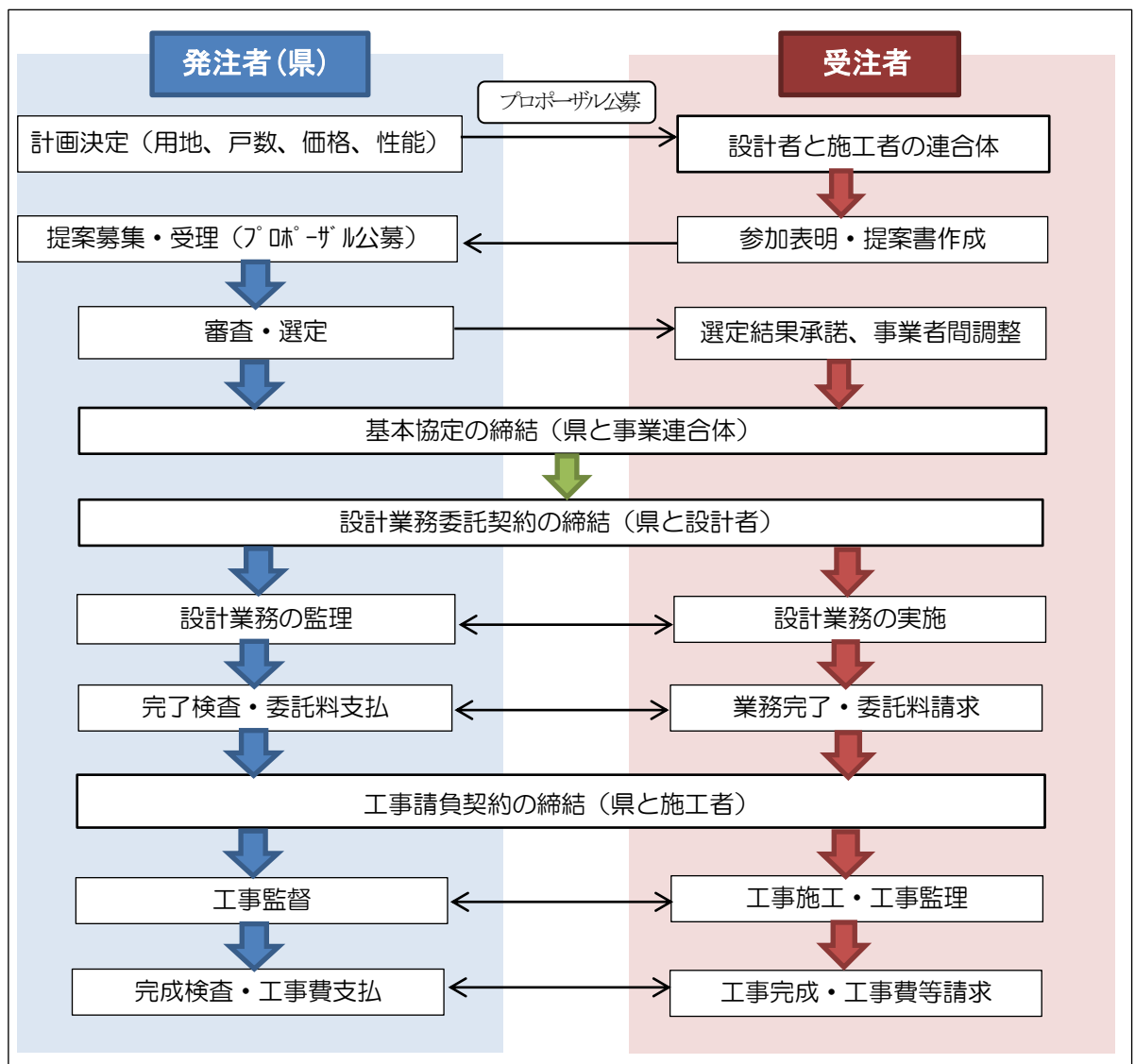
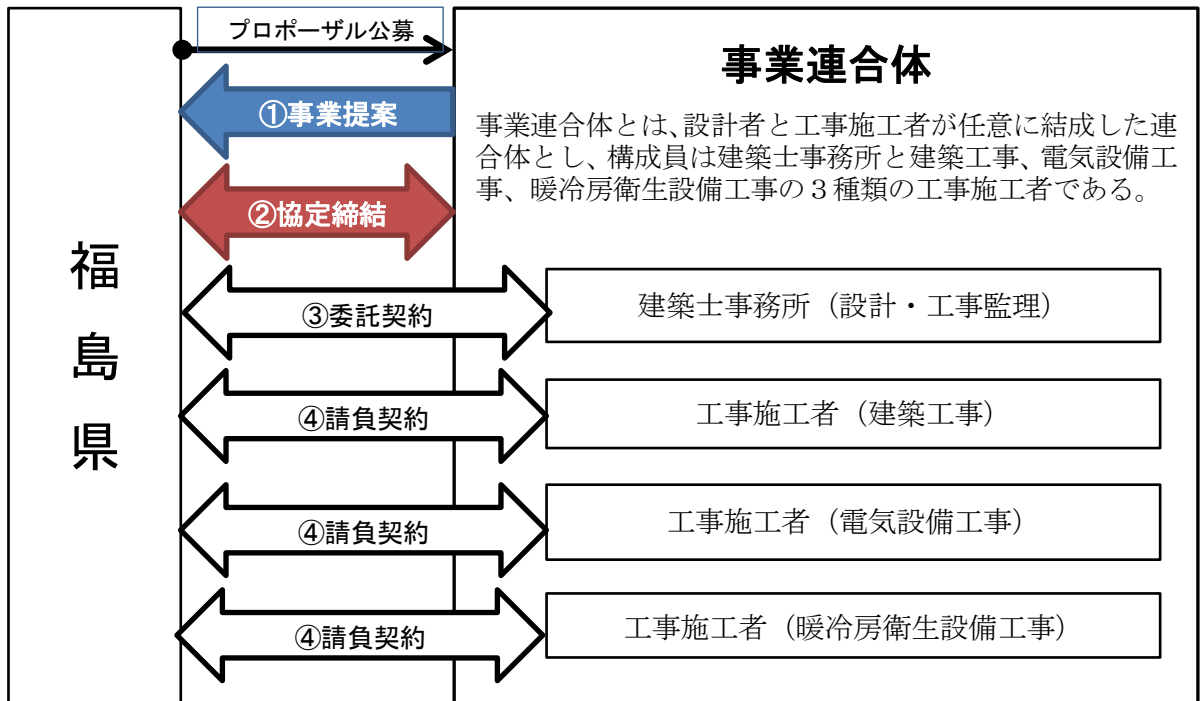


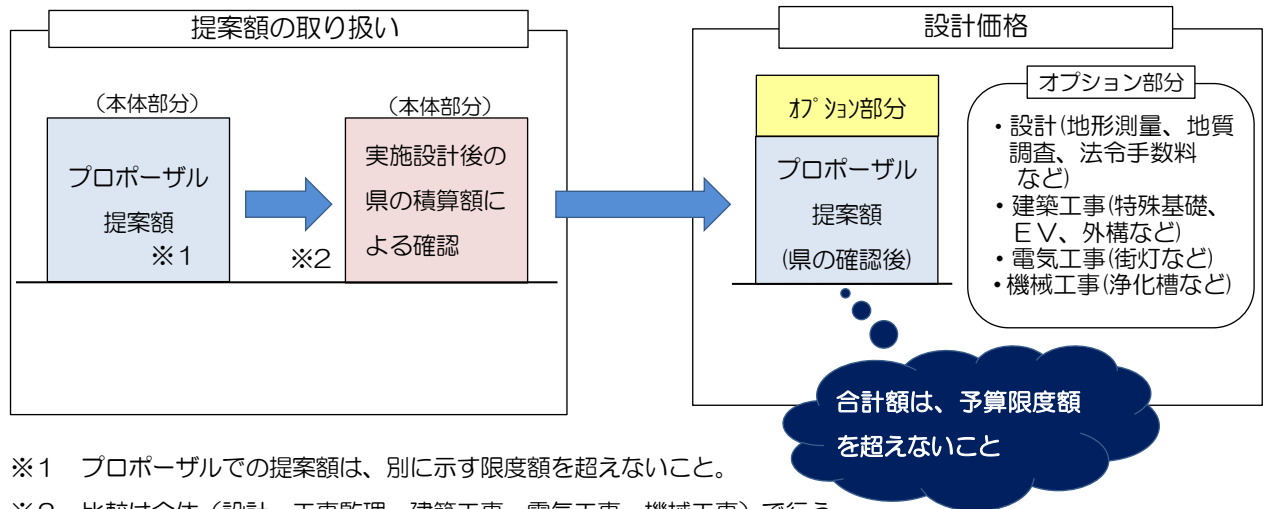
復興公営住宅整備における【設計施工一括選定方式】について

1 設計施工一括選定方式のスキーム



2 設計施工一括選定方式の設計価格

設計価格は下図の考え方により決定します。

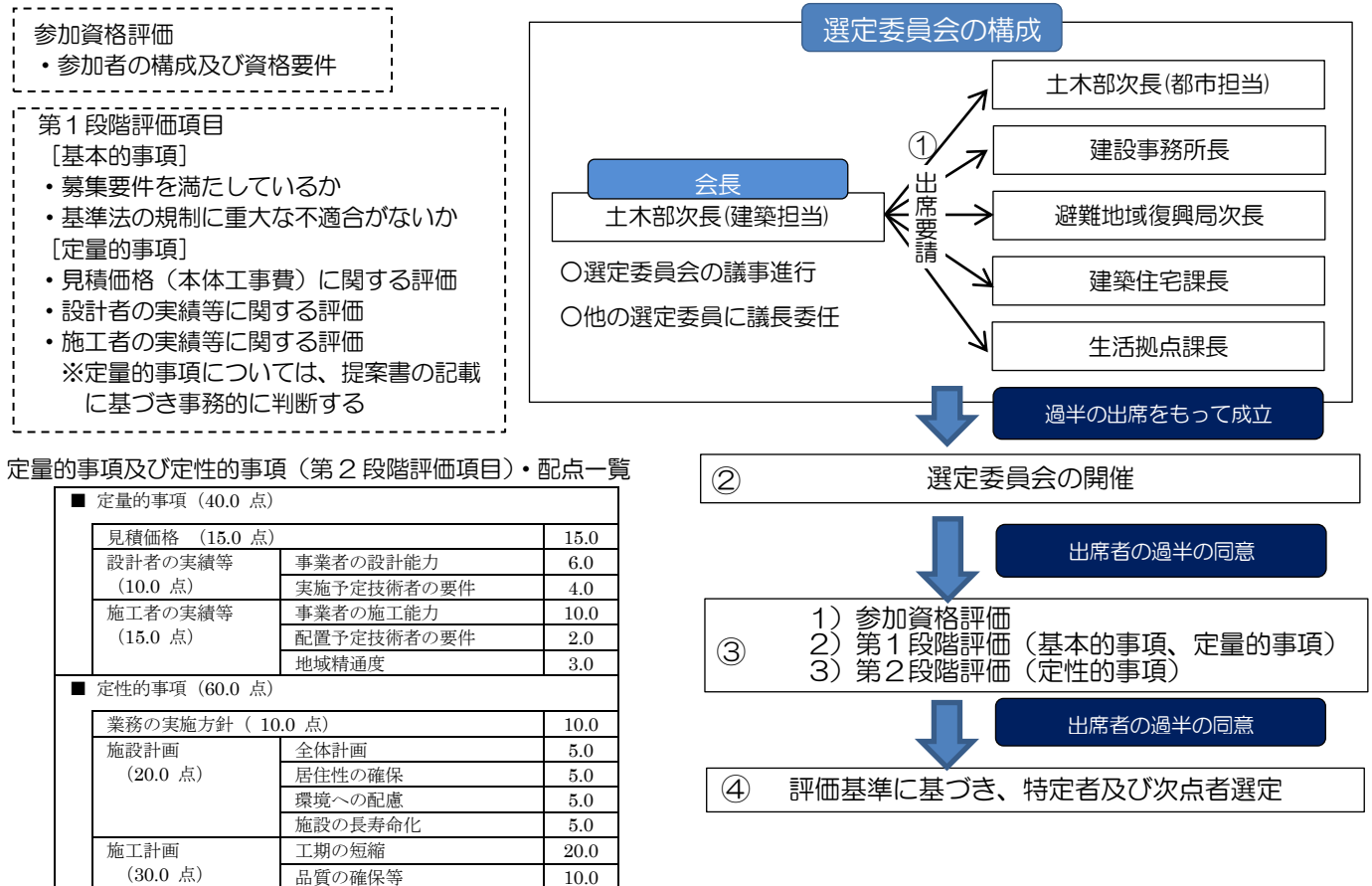


※1 プロポーザルでの提案額は、別に示す限度額を超えないこと。

※2 比較は全体（設計、工事監理、建築工事、電気工事、機械工事）で行う。

3 設計施工一括選定方式の特定者及び次点者の選定方法

定量的事項の評価と定性的事項の評価の合計により、最高得点の者を、最も優れた提案を行った特定者として選定するとともに、次に高得点の者を次点の者として選定



定量的事項及び定性的事項（第2段階評価項目）・配点一覧

■ 定量的事項 (40.0 点)		
見積価格 (15.0 点)		
設計者の実績等 (10.0 点)	事業者の設計能力	6.0
	実施予定技術者の要件	4.0
施工者の実績等 (15.0 点)	事業者の施工能力	10.0
	配置予定技術者の要件	2.0
	地域精通度	3.0
■ 定性的事項 (60.0 点)		
業務の実施方針 (10.0 点)		
施設計画 (20.0 点)	全体計画	5.0
	居住性の確保	5.0
	環境への配慮	5.0
	施設の長寿命化	5.0
施工計画 (30.0 点)	工期の短縮	20.0
	品質の確保等	10.0